

歴史と自然が息づくまちへ 出かけてみませんか

社寺や史跡めぐり

市観光協会では、「松花堂昭乗ゆかりの地めぐり(ウォークラリー1)」を行います。参加は無料。社寺や史跡、和菓子店などを自由にまわってください。ゴールでは「松花堂昭乗とふもと八幡の宝物展」や生花展などを開催しています。

▽日時 10月24日(日)午前9時30分〜午後3時(受け付けは午前10時30分まで)

国民文化祭プレ事業

▽集合場所 石清水八幡宮一ノ鳥居前(小雨決行)
▽コース ①一ノ鳥居 ②走井餅老舗 ③石清水八幡宮 ④石清水社 ⑤東坊・松花堂跡・瀧本坊跡 ⑥下馬碑 ⑦泰勝寺 ⑧志保宗 ⑨前川堂老舗 ⑩亀屋芳邦 ⑪正法寺 ⑫松花堂庭園・美術館(ゴール)
※協力和菓子店で和菓子を提供。
◆問い合わせ 市観光協会 ☎981-1141



大型・健康遊具(下・右下)とフットサル仕様のコート(右)



男山レクリエーションセンター

人工芝でフットサル仕様の多目的コート(有料)や大型遊具、健康遊具などが利用できる芝生広場(無料)があります。多目的コートは照明設備があり夜間でも利用できます。
※休園日は第2月曜日(祝日の場合は翌日)と年末年始。詳しくは男山レクリエーションセンター(☎983-1611)へ。



流れ橋(上津屋橋)

木津川堤防上のサイクリングロードを御幸橋から上流に向かって約5kmの地点に上津屋橋があります。この橋は日本最長級(全長356.5m)の木造橋で、川の水位が上がると橋板や橋げたが流れ出すという独特の構造から通称「流れ橋」と呼ばれています。自然の風景に溶け込むその姿は魅力的な観光地として多くの人が訪れます。
※コミバス停「④上津屋」または「④浜上津屋」下車。徒歩5分。やわた流れ橋交流プラザ「四季彩館」のそば。

レンタルサイクル

市観光協会では、自転車を市内3カ所で無料貸出(保証金1000円が必要)をしています。返却は次の貸出場所3カ所のどこでもかまいません。保証

金は返却場所でお返しします。
▽貸出場所 ①市観光案内所②松花堂③四季彩館
▽利用時間 午前10時〜午後4時30分
◆問い合わせ 市観光協会 ☎981-1141

男山散策路で森林浴

京都府歴史的な自然環境保全地域に指定されている男山には3つの男山散策路があります。コース出発点から別コースの出発点に行くこともできます。コースを組み合わせると男山の自然を楽しんでください。
※ルート図は市観光案内所または商工観光課にあります。一部足もとの悪い場所があります。ご注意ください。



東高野街道

東高野街道は、京都と高野山を結ぶ「高野参拝道」の1つです。起点の石清水八幡宮から生駒山のすそ野を経て、大和川を渡り河内長野へとつながります。



A こもれびルート(約1.3km)

石清水八幡宮の表参道の入り口「一ノ鳥居」横に案内看板があります。看板に従って進むと神応寺。男山散策路の入り口です。神応寺から男山レクリエーションセンターへ向かうルートです。

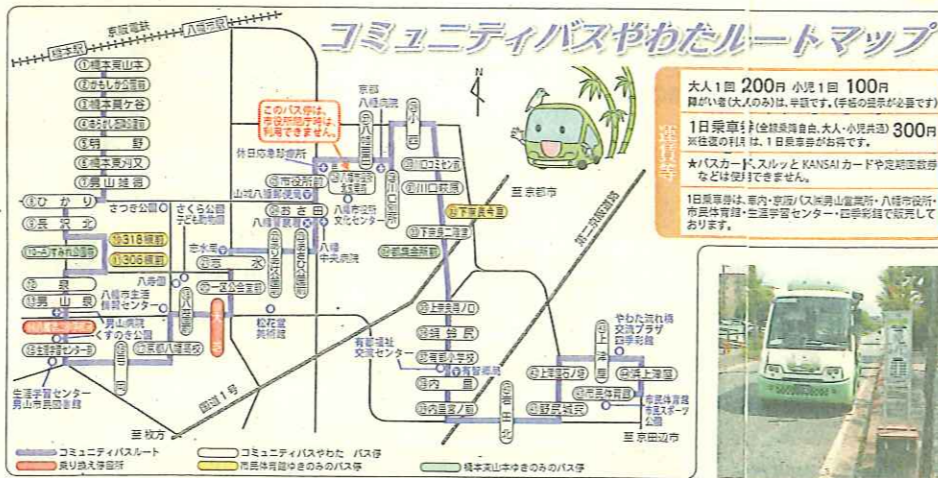
B せせらぎルート(約700m)

善法律寺の前の道(東高野街道)を同寺から南に約200m進むと、右手に案内看板があります。ここから民家を抜けて山道に入り、石清水八幡宮の神馬舎横に向かうルートです。



ひだまりルート(約1.2km) C

神原交差点(走上り)のスポット公園には男山散策路全体の案内看板があります。看板右側の道から小椋谷川に沿って山道に登るルートです。



大人1回 200円 小児1回 100円
障がい者(大人の介)は、半額です。(乗車券が必要)
1日乗車券(金銭換領自由、大人・小児共通) 300円
※往復の料金は、1日乗車券がお得です。
★バスカード・スルッとKANSAIカードや定期乗車券などは使えません。
1日乗車券は、車内・駅外(石清水八幡宮・八幡市駅・市観光協会・市民体育館・生活学習センター・四季彩館)で販売しております。

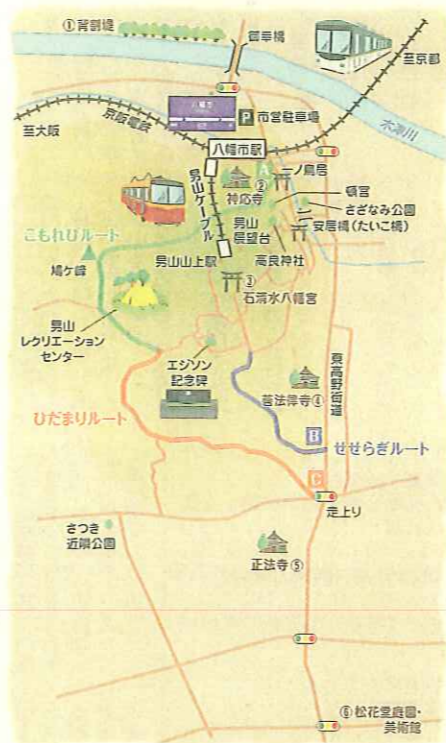


橋本地区と市民体育館を1日10往復します。原則、年中無休で1時間に1回、毎時同じ時刻にバスがきます。
美濃山方面は「④八幡第二小学校前」「④大芝」のバス停で路線バスに乗り継いでください。市内を巡るには1日乗車券がお得です。
◆問い合わせ 管理・交通課

秋が深まるとともに赤く染まる八幡の里。家族そろってハイキングやサイクリングはいかがですか。自然豊かな八幡のまちには、多くの社寺、史跡が点在しています。バスを使って巡るのも楽しいです。



神応寺から男山ケーブルに向かう散策路で眺める紅葉



6 松花堂庭園

庭園のカエデやイチョウが秋の風情を感じさせてくれます。美術館や茶席もあり、松花堂弁当(要予約)は来館者に人気があります。美術館では松花堂昭乗の特別展を開催中です。
※開園時間は午前9時〜午後5時。月曜日(祝日の場合は翌日)と年末年始は休園。コミバス停「④大芝」下車。徒歩3分。



1 背割堤

宇治川と木津川に挟まれた背割堤の遊歩道1.4kmには約250本のサクラが植えられています。夏の終わりとともにサクラの葉が赤く色づき、落ち葉と草のじゅうたんを一面に敷き詰めた遊歩道となります。



2 神応寺

石清水八幡宮「一ノ鳥居」前の道を西に向かうと山門が見えます。神応寺は男山散策路の入り口の1つ。山門から続く坂道を登ると、正面に本堂が見えます。境内のモミジだけでなく、男山の紅葉や書院からの眺望も格別です。



3 石清水八幡宮

「はちまんさん」として親しまれる石清水八幡宮は文化財の宝庫です。彩り豊かな動植物を表した欄間など、さらびやかな桃山様式の造形を見ることが出来ます。男山山へは京阪八幡市駅からケーブルで行くことができます。

八幡宮と神仏習合の歴史

シンポジウムを開催

市教委は石清水八幡宮の歴史的重要性を広く発信するため、シンポジウム「神仏習合と日本文化の源流と八幡信仰」を開催します。
日本を代表する学識者が八幡宮と八幡信仰、神仏習合の歴史について、講演と八幡宮の宮司を交えた討論会を行います。参加無料です。石清水八幡宮の豊かな文化、思想にふれてみませんか。
【講演者】
①上田正昭氏(京都大学名誉教授、アジア史学会会長)
②山折哲雄氏(国際日本文化研究センター名誉教授、赤松学)
【討論会】
パネリスト 上田正昭氏・山折哲雄氏・田中愼清氏(石清水八幡宮宮司)
司会 井上壽郎氏(京都産業大学教授)
▽日時 11月21日(日)午後1時30分〜4時(午後1時開場)
▽会場 市文化センター・小ホール
▽定員 350人(先着順)
▽申し込み 10月30日(当日消印有効)までに、往復ハガキに郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入し、文化財保護課(〒614-8364 男山松里一ふるさと学習館内)へ、1枚のハガキで2人まで応募できます。
◆問い合わせ 文化財保護課 ☎972-2580

4 善法律寺

深紅の葉に包まれた参道は息をのむ美しさ。足利義満の母・良子の菩提寺である善法律寺は別名「紅葉寺」と呼ばれています。カエデが多く、真っ赤に染まる境内は別世界のようです。



5 正法寺

江戸時代、尾張徳川家の庇護を受けて大勢力を誇りました。本堂・大方丈・唐門や鎌倉時代の作である彫刻・絵画など、重要文化財が多数あります。書院西の庭園は京都府の名勝に指定されています。



◆見学には事前予約が必要な場合があります。詳しくは市観光協会(京阪電車八幡市駅改札口すぐ ☎981-1141)まで。